

ZoomText[®]

Q MAGNIFIER

Version11 日本語版
スタートガイド

日本語版発行：

有限会社エクストラ

静岡県静岡市清水区草薙 1 丁目 19-11

URL：<http://www.extra.co.jp>

目次

1. はじめに.....	5
1.1 本商品の内容.....	5
1.2 ユーザー登録のお奨め・方法.....	6
1.3 商品ご利用時の注意事項.....	8
1.3.1 インストール時の注意事項.....	8
1.3.2 ご利用時の注意事項.....	9
1.4 本商品で利用できない機能について.....	18
2. インストールについて.....	20
2.1 アップグレードの注意.....	20
2.2 体験版をご利用の場合.....	20
2.3 インストール手順.....	22

2.4 アクティベーション（ユーザー認証）手順	34
2.5 アンインストール手順.....	49
3. ZoomText の基本機能	53
3.1 ZoomText11 の新機能.....	53
3.2 ツールバー	56
3.2.1 ZoomText ツールバー	57
3.2.2 ZoomText ツールバーをキーボードで操作する	58
3.2.3 ツールバーの最小化と復元.....	59
3.3 拡大機能	61
3.3.1 拡大機能タブ	61
3.3.2 拡大/縮小.....	65
3.3.3 マウスホイール拡大をカスタマイズ.....	67
3.3.4 1 倍表示切り替えの使用	70

3.3.5 拡大画面のスクロール	71
3.4 画面の強調表示	74
3.4.1 画面色の補正	74
3.4.2 ポインタの強調	77
3.4.3 カーソルの強調	80
3.4.4 フォーカスの強調	83
3.4.5 フォントの強調	86
3.4.6 スマート反転の使用	88
3.5 操作設定	90
3.5.1 追従	90
3.5.2 表示位置調整	92
3.5.3 マウス	94
3.5.4 パン	96

4. ZoomText コマンド.....	98
4.1 ファインダのコマンド.....	98
4.2 レイヤードキーコマンドモード	102
4.3 拡大コマンド	104
4.4 プログラムコマンド	107
4.5 スクロールコマンド	109
4.6 サポートコマンド	112
4.7 ウィンドウコマンド	115
5 オンラインヘルプ	118
6 お問い合わせ.....	119

1. はじめに

1.1 本商品の内容

このたびは、ZoomText®11 Magnifier(以下、本商品または ZoomText と称す)をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。本商品には次のものが含まれています。万一、不足の品がありましたら、ご購入元にお問い合わせください。

- ・ スタートガイド（本紙）
- ・ ZoomText Magnifier CD-ROM
- ・ ユーザー登録カード
- ・ ソフトウェア使用許諾書

1.2 ユーザー登録のお奨め・方法

本商品をお買い上げいただき、本商品のユーザー登録の申し込みをされた「登録ユーザー」を対象に、下記のサービスをご提供しております。ぜひ、ユーザー登録にお申し込みください。

<ご提供するサービス>

(1) ZoomText サポートデスク

電話、FAX及び電子メールでご質問を受け付けます。

ZoomText サポートデスク連絡先

電話 03-6380-2507

FAX 03-5287-5602

電子メール zoomtext@lowvision-support.com

(2) バージョンアップサービス

バージョンアップのご案内などをいたします。

サービス内容は種類や時期によって異なる場合がございます。

<ユーザー登録方法>

(1) 同梱のユーザー登録カードに、必要事項を記入して郵送

(2) 有限会社エクストラホームページの登録ページから送信

登録いただいた情報に関して

弊社より、バージョンアップ情報、商品やサービスの情報、イベント情報などのお知らせをお送りする以外には使用しません。

1.3 商品ご利用時の注意事項

1.3.1 インストール時の注意事項

- (1) 本商品以外の拡大表示ソフトを同時にインストールしないでください。他の拡大表示ソフトがインストールされている場合には、アンインストールした後に本商品をインストールしてください。他の拡大表示ソフトと同時にインストールされると、パソコンが正常に起動できなくなる場合があります。
- (2) ZoomText 11 は、Windows®7、8.1、10 以外での動作はサポートしていません。
- (3) 旧商品の ZoomText をお持ちのお客様で、本商品を旧商品と同じパソコンへインストールされるお客様は、本紙のインストール手順

書の「2.1 アップグレードの注意」をお読みください。インストール時の注意事項等をご説明しております。

1.3.2 ご利用時の注意事項

- (1) 本商品はインストール時点では体験版として動作し、別途アクティベーション（ユーザー認証）を行うことで商品版として動作するようになります。また、アクティベーションを行わないと、インストールから60日が経過した時点で本商品を使用できなくなります。本商品を継続的に使用するにはインストールの後にアクティベーションを行う必要があります。アクティベーションは3回まで実行可能で、一度アクティベーションを行ったハードディスクであれば、本商品を再インストールする際も、再度アクティベーションを行う必要はありません。アクティベーションの手順については、本紙の

「2.4 アクティベーション(ユーザー認証)手順」を参照してください。

(2) 本商品は随時アップデートを行っています。

障害の修正や新しい機能の追加などが行われますので、最新のアップデートモジュールを適用されることをお勧めします。

インターネットに接続している環境であれば(設定により)本商品の起動時に自動的に確認を行うほか、「ヘルプ」メニューの「アップデートの確認」を実行して「ZoomText アップデートウィザード」を起動し、[次へ]を選択していただくことで、アップデートの有無を確認できます。アップデートが可能な場合は画面の指示に従ってください。

本商品をご使用のパソコンがインターネットに接続されていない場合は、インターネットに接続されている別のパソコンから有限会社エクストラの Web ページにアクセスし、アップデートモジュール

をダウンロードすることも可能です。

また、インターネットに接続できる環境をお持ちでない場合は、ZoomText サポートデスクにお問い合わせ下さい。

- (3) 本商品をお使いのお客様が、ハードディスクドライブをフォーマットしたり、Windows® オペレーティングシステムをアップグレードしたりする必要がある場合は、ZoomText のライセンスの移動を行った後に、いったん本商品をアンインストールしてください。ZoomText のライセンスの移動、アンインストールおよびインストールの手順については、本紙「2.5 アンインストール手順」および「2.3 インストール手順」を参照してください。なお、Windows サービスパック(Service Pack)およびホットフィックス(Hot Fix)をイ

インストールされる場合は、ZoomText のライセンスの移動やアンインストールを行う必要はありません。

- (4) ディスプレイドライバの変更を行う場合も、ZoomText のライセンスの移動を行った後に、いったん本商品をアンインストールし、変更作業の終了後に再度インストールし直してください。アンインストールをしないままシステムの変更を行うと、本商品を正常に起動できなくなる場合があります。

- (5) Windows®に対する ZoomText のログオンサポート機能をお使いのお客様で、Windows®のサービスパックをインストールされる場合は、サービスパックのインストール前にいったん ZoomText のログオンサポート機能を無効にしてください。ZoomText のログオンサポート機能の無効化につきましては、オンラインヘルプの

「Windows のログオンサポート」の「ZoomText のログオンサポートの有効/無効の切り替え」を参照してください。

(6) Windows®ユーザーアカウント制御について

Windows®で提供される新しい重要なセキュリティ機能の 1 つに、「ユーザー アカウント 制御」(UAC)があります。UAC は有害プログラムによるファイルの破損やシステム構成の変更などを防ぎます。そのため、アドミニストレータ権限が必要なプログラムを実行すると、許可を求める UAC の確認ダイアログが表示されます。

UAC の確認ダイアログは、ZoomText 機能を調整したり、使用したりする場合にも表示されます。これらの機能はすべて、システムで実行してもまったく問題のない安全な機能です。

ユーザーアカウント制御についての詳細は、Windows® のヘルプシ

システムを参照してください。

- (7) アプリケーションによっては、ZoomTextの「xFont」機能と互換性がないため、テキストが欠落または壊れることがあります。このような場合には従来の品質で表示する「標準」にフォントの強調方法を切り替えることで回避することができます。また、「xFont」がうまく動作しないアプリケーションで、「xFont」の使用を除外することもできます。詳しくはオンラインヘルプの「フォントの強調」を参照してください。
- (8) 本商品で拡大表示しても、動画自体の表示が拡大されないことがあります。この場合、本商品と動画表示アプリケーションの起動の順序によって回避できる場合があります。動画再生アプリケーショ

ンと本商品を同時に利用する場合は、必ず、最初に本商品、次に動画再生アプリケーションの順に起動してください。

- (9) 本商品の「カーソル強調」機能や「ポインタ強調」機能は、Microsoft® Word や一太郎での縦書きはサポートしておりません。縦書きの文書ではカーソル強調やポインタ強調が正しく動作しない場合があります。
- (10) ご使用の Office 製品のバージョンによっては本商品が動作する際に表示の乱れが発生する場合があります。Office 製品を動作させて画面の乱れが発生した場合にはマイクロソフトの Web サイトから最新 Office 製品の サービスパック(Service Pack)をダウンロードして適用してください。

Office 製品のサービスパックにつきましては、マイクロソフト(株)にお問い合わせください。

(11) ホットキーについて

＜ホットキーの競合＞

キーの組み合わせが本商品のホットキーとして割り当てられている場合、通常このコマンドは本商品でのみ実行されます。もしこのキーが現在操作中のアプリケーションでも使用されている場合、このアプリケーションはコマンドに反応しません(ただし、組み合わせによっては本商品のホットキーが無効となり、操作中のアプリケーションのショートカットキーが実行される場合があります)。

現在操作中のアプリケーションを実行したい場合は、本商品のホットキーを一時的に無効にすることができます。また、本商品のホットキーの設定を変更することで競合することなくアプリケーションを実行することもできます。

詳しくはオンラインヘルプの「一時的に ZoomText のホットキーを無効にする」参照してください。

1.4 本商品で利用できない機能について

オンラインヘルプで一覧表示されているものは、ZoomText 製品で利用可能なすべての機能が一覧表示されています。ただし、本商品 (ZoomText Magnifier) では読み上げ関連の機能・ホットキーはご利用になれません。この機能は、ZoomText の Magnifier/Reader バージョンでのみ使用することができます。(日本国内未発売)

利用できない機能・ホットキーとしては次のものがあります。ご注意ください。

- ・ 読み上げツールバー (ImageRdr) 機能
- ・ Magnifier/Reader にアップグレード

- ・ AppReader および DocReader とホットキー
- ・ web ファインダ内での読み上げ機能
- ・ テキストファインダ内での読み上げ機能
- ・ BG リーダーとホットキー
- ・ 読み上げツールバーとホットキー
- ・ 範囲読み上げとホットキー
- ・ 画面読み上げとホットキー
- ・ テキスト読み上げとホットキー
- ・ レコーダとホットキー

2. インストールについて

2.1 アップグレードの注意

・旧商品から新しい ZoomText へアップグレードされる場合、お使いのコンピュータに旧商品があらかじめインストールされている必要はありません。

2.2 体験版をご利用の場合

・ ZoomText はインストール時点では体験版として動作し、別途アクティベーション（ユーザー認証）を行うことで商品版として動作するようになります。

・ 体験版として動作する試用期間は 60 日で、試用期間終了後はアクティベーションを行わないと ZoomText をご利用頂けません。

- ・ ZoomText の体験版が既にインストールされている場合は、アクティベーションを行うだけで商品版として引き続きご使用頂けます。商品版の CD-ROM からインストールし直す必要はありません。アクティベーションの手順については、「2.4 アクティベーション（ユーザー認証）手順」を参照してください。

- ・ 体験版を削除して商品版をインストールした場合、試用期間が残っていたとしても商品版の試用期間は最初から「0 日」になります。ZoomText の体験版が既にインストールされている場合は、体験版をアンインストールせずに、アクティベーションを行ってください。

- ・ 体験版の試用期間は、商品版をインストールし直しても 60 日には戻りません。

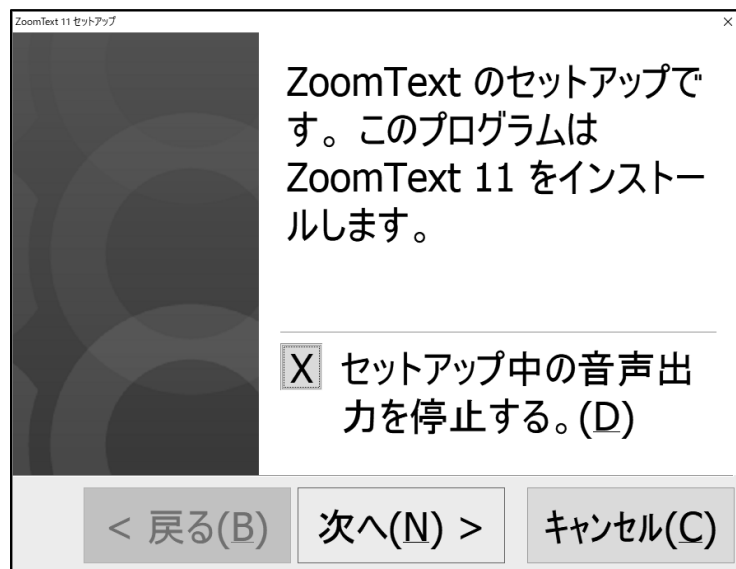
2.3 インストール手順

- (1) 使用中の全てのアプリケーションを終了します。
- (2) ZoomText の CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブに挿入します。
セットアッププログラムが自動的に起動しない場合は、「マイコンピュータ」などで ZoomText をセットした CD-ROM ドライブを開き、「setup.exe」を実行します。

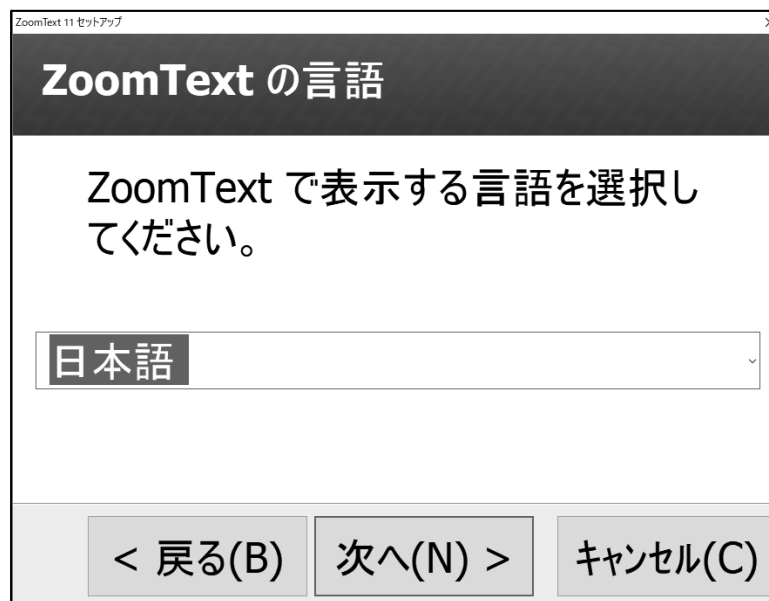
(3) 「ZoomText セットアップ」画面が表示されます。

[次へ(N)]を選択します。

※ セットアップ中説明音声がかかります。不要な場合は[セットアップ中の音声出力を停止する]にチェックを入れます。



- (4) 「ZoomText の言語」画面が表示されます。
”日本語”が選択されていることを確認して、[次へ(N)]を選択します。



- (5) 「ZoomText 使用許諾」画面が表示されます。英文の使用許諾の後に、参考として和訳したものが続きます。
内容を確認したら[「使用許諾」に同意します。]にチェックを入れて[次へ(N)]を選択します。



- (6) 「ユーザー情報」画面が表示されます。
[名前]及び[所属]を入力して[次へ(N)]を選択します。
※ [所属]は省略できます。

ZoomText 11 セットアップ

ユーザー情報

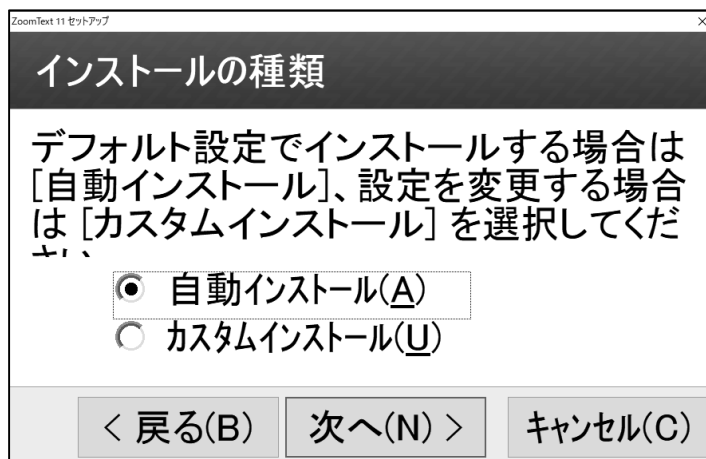
ZoomText のライセンスを所有するユーザーの名前と所属を入力してください。

名前(A):

所属(O):

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル(C)

- (7) 「インストールの種類」画面が表示されます。
[自動インストール]、[カスタムインストール]のどちらかを選択して
[次へ(N)]を選択します。

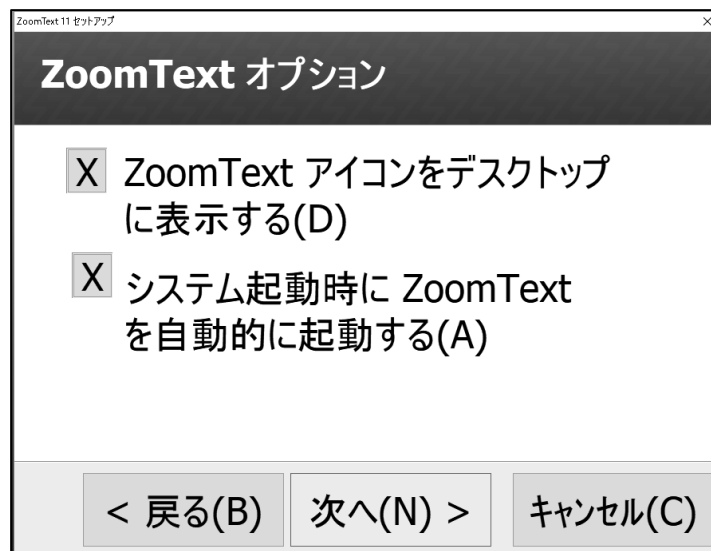


[カスタムインストール]では以下の項目の有効・無効を設定します。
(これらの項目はインストール完了後に後で変更することもできます。)

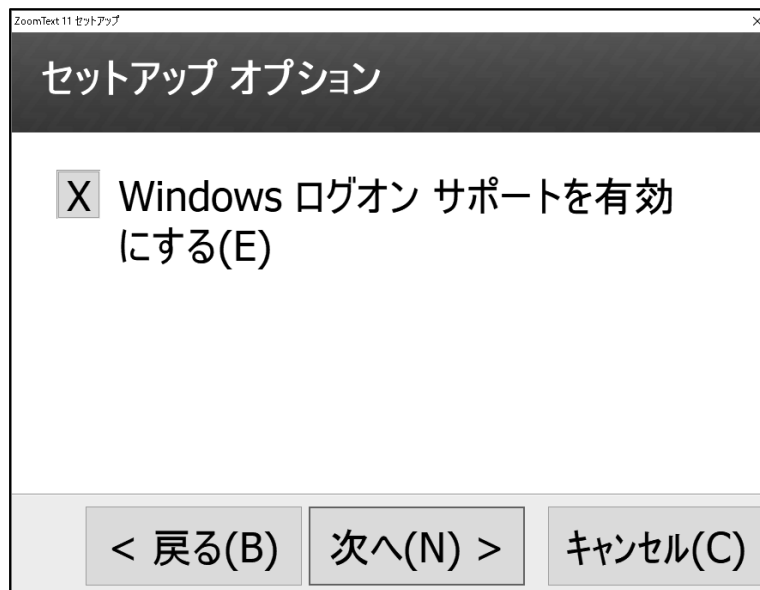
- ・ ZoomText 起動用のアイコンをデスクトップに置く
- ・ システム起動時に ZoomText を自動的に起動する

[自動インストール]を選択した場合は(10)へ進んで下さい。
ZoomText は「C:¥Program Files¥ZoomText」にインストールされ、
上記の項目はすべて有効となります。

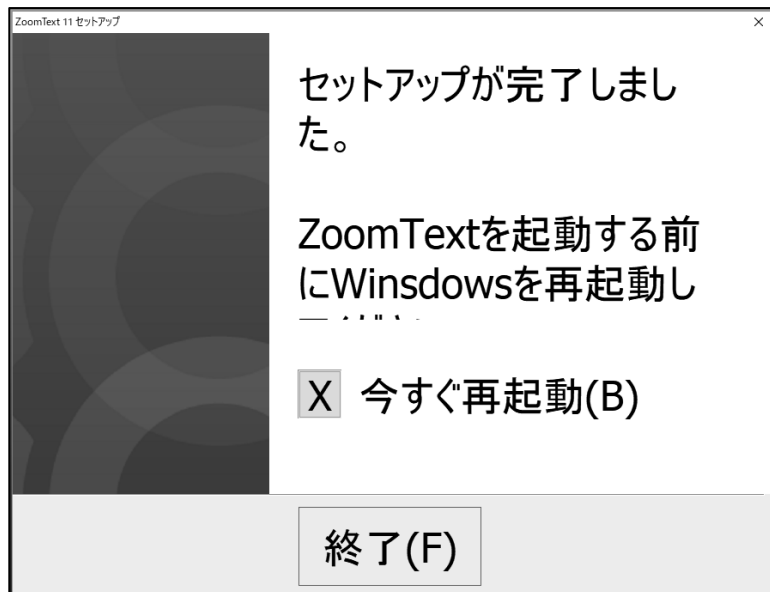
- (8) [カスタムインストール]を選択した場合は、「ZoomText オプション」画面が表示されます。
機能を有効にしたい項目にチェックして、[次へ(N)]を選択します。



- (9) 「ZoomText セットアップオプション設定」画面が表示されます。Windows のログオン画面で ZoomText の拡大機能等を利用したい場合はチェックして、[次へ(N)]を選択します。



(10) 以下の画面が表示されたら、[終了(F)]を選択し、Windows を再起動します。



以上で ZoomText のインストールは終了です。

なおインストール後 ZoomText を継続して利用するには、アクティベーションを行って頂く必要があります。

①ZoomText のアクティベーション

ZoomText を継続的に使用するには、インストールの後にアクティベーション（ユーザー認証）を行う必要があります。

アクティベーションを行わないと、インストールから 60 日が経過した時点で ZoomText を使用できなくなります。

次頁の手順を参照して、アクティベーションを行って下さい。

②ZoomText のアップデート

ZoomText は随時アップデートを行っています。障害の修正や新しい機能の追加などが行われますので、最新のアップデートモジュールを

適用されることをお奨めします。

インターネットに接続している環境であればZoomText の起動時に自動的に確認を行うほか、「ヘルプ」メニューの「アップデートの確認」を実行して「ZoomText アップデート・ウィザード」を起動して[次へ]を選択して頂くことで、アップデートの有無を確認できます。

アップデートが可能な場合は画面の指示に従って下さい。

また、インターネットに接続できる環境をお持ちでない場合は、ZoomText サポートデスクにお問い合わせ下さい。

2.4 アクティベーション（ユーザー認証）手順

ZoomText では、ライセンス認証方法としてアクティベーションを取り入れています。

ZoomText のインストール後 60 日間は、ZoomText をご利用頂けますが（※）、その後継続して ZoomText を利用するためにはアクティベーションが必要です。この期間が過ぎると、アクティベーションの手続きが完了するまで ZoomText はご利用頂けません。

※商品版をインストールする前に体験版をご利用になっていた場合は、体験版の試用期限が引き継がれます。

また、体験版を削除した場合は、試用期限は“0 日”となります。

アクティベーションは 3 回まで実行可能で、一度アクティベーションを行ったハードディスクであれば、本商品を再インストールする際も、再度アクティベーションを行う必要はありません。

アクティベーションの際に登録される情報は、購入された商品の「Serial Number」と、ご使用の環境の情報から割り当てられた「システムコード」です。

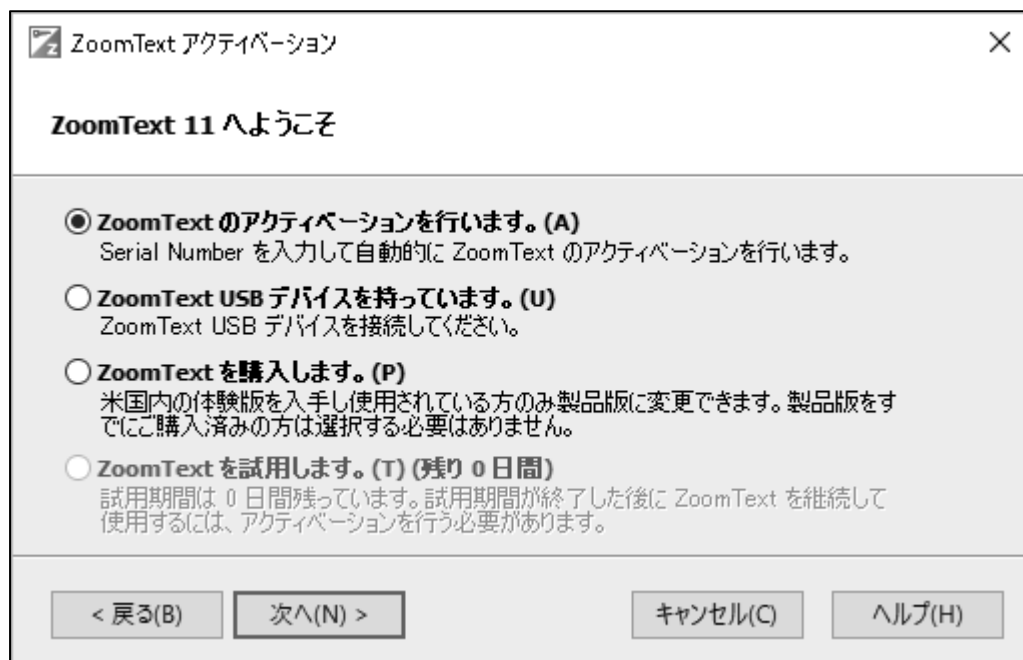
なお、アクティベーションの際の情報は開発元である米国 Ai Squared 社に登録され、エクストラでは管理を行いません。予めご了承下さい。また、アクティベーション時の登録とは別にお客様登録を行って頂くことで、日本語によるサポートをご提供します。

アクティベーションは次の3通りの方法で行うことができます。

- ①インターネットによる自動アクティベーション
- ②インターネットによる手動アクティベーション
- ③電話によるアクティベーション

次の手順に沿って、可能な方法でアクティベーションを行ってください。

- (1) アクティベーションを行っていない状態で ZoomText を起動すると以下の画面が表示されます。[ZoomText のアクティベーションを行います。]を選択し、[次へ(N)]を選択します。



以下の項目を選択した場合アクティベーションは行われません。

- ・「ZoomText を購入します。(P)」および「ZoomText USB デバイスを持っています。」については、いずれも日本では購入できませんので選択しないで下さい。

- ・「ZoomText を試用します。(T) (残り〇〇日間)」：
アクティベーションを行わずに試用を続ける場合はこちらを選択してください。残り日数が0日になると、それ以上はご使用になれません。

(2)「Serial Number を入力します」画面が表示されます。Serial Number を入力して[次へ(N)]を選択します。

ZoomText アクティベーション

Serial Number を入力します

パッケージ版の ZoomText を購入した場合、パッケージに Serial Number が入っています。オンラインでダウンロード版を購入した場合、Serial Number は確認の Eメールに記載されています。

Serial Number:

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル(C) ヘルプ(H)

※1 Serial Number は、商品の箱、CD-ROM ケース、ユーザー登録カ

ードに貼付されています。

※2 入力にはすべて半角数字を使用して下さい。

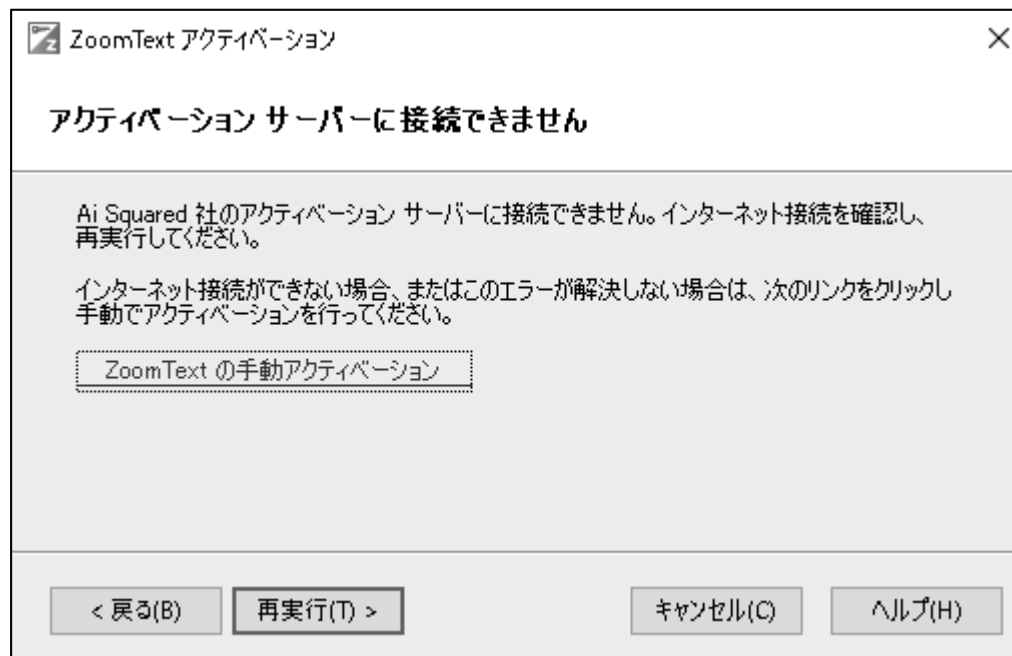
アップグレード版の場合は、続いて旧商品の Serial Number を確認する画面が表示されます。旧商品の Serial Number を入力して[次へ(N)]を選択します。

(3) 「アクティベーションサーバーへ接続中」という画面が表示されたらしばらくお待ちください。

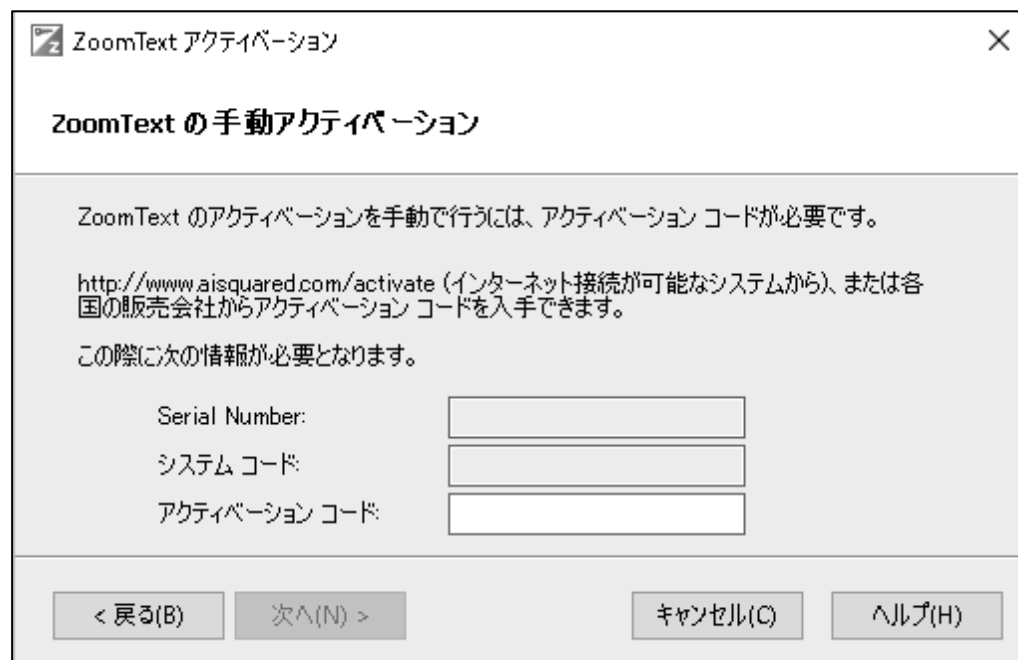
(4) 「アクティベーションは完了しました」という画面が表示された場合はアクティベーション終了です。→(6)へ進んでください。

以下の画面が表示された場合はご使用の環境がインターネットに接続されていません。

インターネットを使用せずにアクティベーションを行うために「ZoomTextの手動アクティベーション」を選択してください。



(5) 「ZoomText の手動アクティベーション」画面が表示されます。



The image shows a dialog box titled "ZoomText アクティベーション" (ZoomText Activation) with a close button (X) in the top right corner. The main heading is "ZoomText の手動アクティベーション" (Manual Activation of ZoomText). The text inside the dialog reads: "ZoomText のアクティベーションを手動で行うには、アクティベーション コードが必要です。" (To manually activate ZoomText, an activation code is required.) Below this, it provides a URL: "http://www.aisquared.com/activate (インターネット接続が可能なシステムから)、または各国の販売会社からアクティベーション コードを入手できます。" (From a system with internet access, or from a sales company in your country.) It then states: "この際に次の情報が必要となります。" (The following information is required at this time.) There are three input fields: "Serial Number:" with a text box, "システム コード:" (System Code) with a text box, and "アクティベーション コード:" (Activation Code) with a text box. At the bottom, there are four buttons: "< 戻る(B)" (Back), "次^(N) >" (Next), "キャンセル(C)" (Cancel), and "ヘルプ(H)" (Help).

インターネットか電話でアクティベーションコードを入手し、「アクティベーションコード」欄に入力して、[次へ(N)]を選択します。
アクティベーションコードの入手方法について以下に説明します。

(5)-1 インターネットでアクティベーションコードを入手する方法
1) Internet Explorer 等の Web ブラウザを起動し、以下のページにアクセスします。

<http://www.aisquared.com/activate/>

ZoomText Search

Products Blog Dealers Learning Help Store News

Activation

Greetings, If you need to activate **ZoomText** or **ImageReader** on a system that is not connected to the Internet, you can get the necessary information here.

Enter your **ZoomText** or **ImageReader** serial number and system code into the fields below. These numbers can be obtained from the **ZoomText** or **ImageReader** Activation Wizard. Click on the "Continue" button to get your activation code.

Do you need to transfer your activation back to our server? [Go here to do the transfer](#)

Serial Number* Enter Serial Number

System Code* Enter System Code

Continue

2) 「ZoomText の手動アクティベーション」画面の Serial Number、システムコードをそれぞれの欄に入力して、[Continue]ボタンをクリックします。

3) 「アクティベーションコード」が表示されます。
このコードを(5)の画面の「アクティベーションコード」欄に入力して、[次へ(N)]を選択します。

(5)-2 電話でアクティベーションコードを入手する方法

「ZoomText の手動アクティベーション」画面を開いた状態で ZoomText サポートデスクに電話をかけます。

担当者にまず ZoomText のアクティベーションのご依頼であることをお伝え頂いた上で、Serial Number とシステムコードをお伝え下さい。

折り返し電話にて「アクティベーションコード」をお知らせします。
※電話のほかに FAX、電子メールでもアクティベーションのご依頼に対応致します。

なお、お知らせまでに多少お時間を頂く場合がありますが、予めご了承下さい。

連絡先は次の通りです。

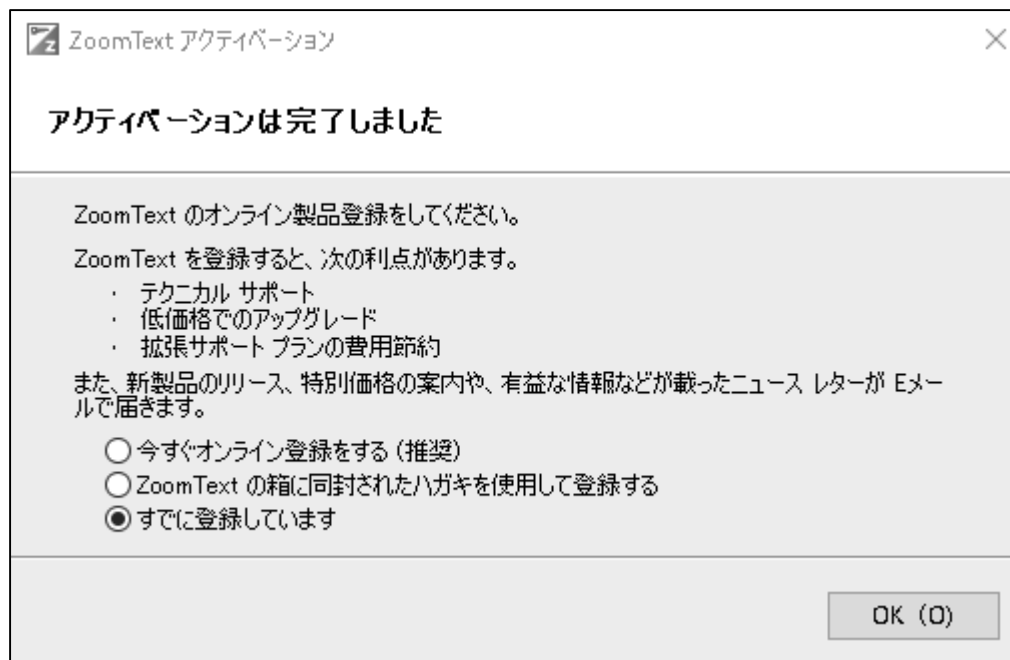
ZoomText サポートデスク連絡先

電話 : 03-6380-2507

FAX : 03-5287-5602

電子メール : zoomtext@lowvision-support.com

(6)以下の画面が表示されたらアクティベーション終了です。



「すでに登録しています」を選択して「OK」ボタンを押します。画面を閉じてから、ZoomText を再起動してください。

※「今すぐオンライン登録をする(推奨)」を選択すると、ZoomTextの開発元である Ai Squared 社のユーザー登録ページに接続します。エクストラにユーザー登録される方は、選択する必要はありません。ハガキで登録の場合は同梱のユーザー登録ハガキに情報を記載し、お送りください。

2.5 アンインストール手順

ZoomText をお使いのコンピュータから削除する場合は、以下の手順に従ってアンインストールを実行してください。

(1)以下のいずれかの手順でライセンスの移動を行います。

- ・ インターネットによるライセンスの移動（自動）

インターネットに接続している環境では、ZoomText のメニューバーの「ヘルプ」→「ライセンスの移動」を選択して表示される画面で、[移動(T)]ボタンを押すと自動で完了します。

- ・ インターネットによるライセンスの移動（手動）

対象の PC がインターネットに接続できない場合で、他にインターネ

ットに接続できる PC がある場合の方法です。

- 1) インターネットに接続していない環境で、ZoomText のメニューバーの「ヘルプ」→「ライセンスの移動」を選択して表示される画面で[移動(T)]ボタンを押します。
- 2) 「アクティベーション サーバーに接続できません」という画面が表示されたら、[手動で ZoomText ライセンスを移動]のリンクをクリックします。
- 3) 開いた画面で Serial Number と移動コードを控えます。
- 4) インターネットに接続できる PC で以下の URL にアクセスします。
<http://www.aisquared.com/transfer>
- 5) 開いた画面の各欄に 3) で控えた Serial Number と移動コードを入力して[Submit]ボタンを押します。

- ・ 電話によるライセンスの移動

インターネットに接続できる PC がない場合は、インターネットを必要とする作業を ZoomText サポートデスクで代行します。「インターネットによるライセンスの移動（手動）」の手順で Serial Number と移動コードをご確認の上お電話下さい。作業完了後に移動コードをお知らせしますので、そのコードをダイアログに入力することによりライセンスの移動が完了します。

(2) ZoomText を実行している場合は終了します。

(3) [スタート]メニュー→[すべてのプログラム]または[プログラム]→[ZoomText 11]→[ZoomText 11 のアンインストール]を実行します。

(4) 「ZoomText のアンインストール」画面が表示されるので[はい(Y)]

を選択します。

(5) 「アンインストールを完了するには再起動が必要です。」と表示された場合は、[はい(Y)]を選択して Windows を再起動してください。
以上で ZoomText のアンインストールは終了です。

3. ZoomText の基本機能

3.1 ZoomText11 の新機能

- ・ 新ツールバー

新しいツールバーは、すっきりしたレイアウトになり使いやすくなりました。マウスやキーボードで操作しやすくなりました。

- ・ ホットキー

学習に適したコマンドキーが搭載されています。

以前のバージョンにあった競合や互換性の問題も解消されています。

- ・ 拡大表示から標準表示への切り替え

倍率を変更をせずに、1 回の操作で拡大状態と標準状態を切り替える事ができます。

- ・ よりなめらかな文字の表示

xFont では難しかったテキストの端の部分もなめらかに表示します。

- ・ ファインダ機能で文字の検索

実行中のドキュメントやウェブページ、メールの中から文字の検索が可能です。

ファインダは、Internet Explorer, Firefox, Microsoft Word Microsoft Outlook など 主要アプリケーションの起動中に使用できます。詳しい使い方は ZoomText オンラインヘルプをご参照ください。

- ・ スマート反転機能

色や明るさの反転機能を使うことで、写真を自然な色で見ることが出来ます。(※現在 Internet Explorer 11 のみ対応。随時各ウェブブラウザ

やアプリに対応予定)

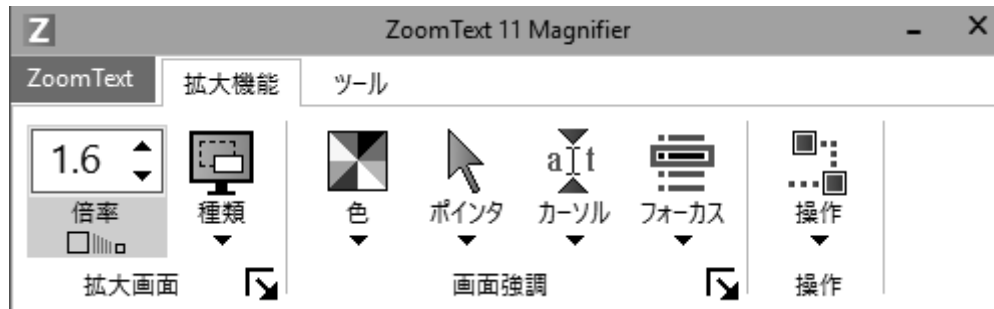
- ・ JAWS との互換性

ZoomText11 と JAWS18 で、同時使用に対応しました。

3.2 ツールバー

ZoomText を開始すると ZoomText ツールバーが画面に表示されます。ZoomText ツールバーは、ZoomText の全て操作を可能にし、いくつかのツールバータブと共に ZoomText メニュー内に整理されています。各タブには機能ボタンがついており、ZoomText のメイン機能の操作と設定を行えるようになっていきます。多くのボタンは、スプリットボタンになっており、機能のオン・オフ切り替えや、その機能に関連するメニューを開くのに使えます。これらのボタンはカテゴリごとに分けられ、直感的に識別できるようにアイコンとラベルが表示されます。

3.2.1 ZoomText ツールバー



- **ZoomText** メニュー ZoomText メニューを表示します。ZoomText のオンオフを切り替え、ZoomText ヘルプの起動、設定の保存・読み込み、コマンドキーの設定、サポートツールなど、様々な機能が使えます。
- **拡大機能** タブ ZoomText 拡大機能のツールバー操作を表示します。
- **ツール** タブ ZoomText ファインダ、カメラ、リスニング機能のツールバーを表示します。

注意:読み上げタブは ZoomText Magnifier/Reader のみ表示されます。

3.2.2 ZoomText ツールバーをキーボードで操作する

ZoomText ツールバーは、Windows ナビゲーションコマンドを使用することで、ほぼキーボードのみで操作できます。操作に使用するのは、矢印キーと Enter キーのみなので、非常に簡単です。矢印キーを使用することで、ZoomText メニュー内、ツールバータブ、ツールバー操作ボタンメニュー間を移動することができます。スプリットボタンにフォーカスが当たっている場合、Enter キーで機能の切り替え、下矢印キーを押している間は付随するメニューが開きます。フォーカスが Magnifier ツールバーの倍率ボックス、または、Reader ツールバーの読み上げ速度ボックスに当たっている場合、上と下矢印キーで値を変更でき、倍率ボックスでは、Enter キーを押すことで、1 倍表示との

切り替えも可能です。

3.2.3 ツールバーの最小化と復元

ツールバーは、ZoomText の操作に影響させることなく最小化と復元が可能です。

ZoomText を最小化するには 次のいずれかの操作を行ってください：

- ZoomText タイトルバーで、最小化ボタンを押す。
- ZoomText ツールバーが有効になっている状態で、**Esc** を押す。

ZoomText を復元するには 次のいずれかの操作を行ってください：

- タスクバーの ZoomText 11 ボタンを押す。
- ユーザーインターフェースを表示のホットキーを押す：**無変換 + Ctrl + U**。

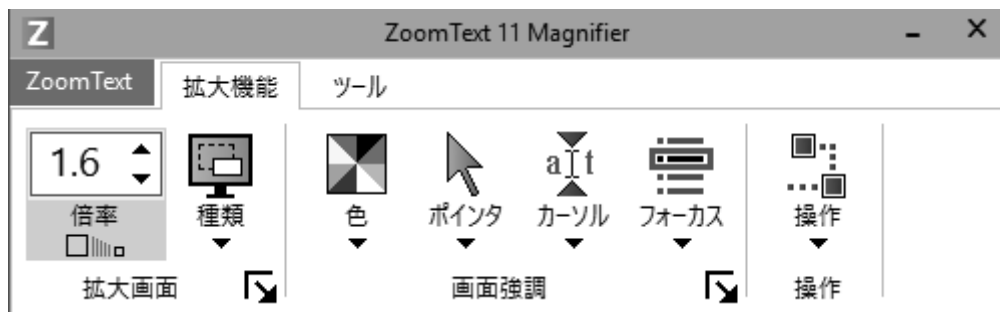
注意: 既に ZoomText ツールバーが開いている状態で他のアプリケー

ションでと重なっている場合は、上記の復元で、一番手前に表示させることができます。

3.3 拡大機能

3.3.1 拡大機能タブ

拡大機能タブには、ZoomText の画面拡大機能をすばやく利用し設定できるクイックアクションボタンがあります。多くのボタンはスプリットボタンになっており、機能のオン・オフ切り替えや、その機能に関連するメニューを開くのに使えます ツール バーのボタンはカテゴリごとに分けられ、機能の特徴を示すアイコンとラベルが書かれています。



倍率： 倍率 1 倍から 60 倍 を設定します。

種類： 拡大画面の種類を選択します。 利用可能な拡大画面の種類は、モニター1 台使用時と、複数台使用時で異なります。

色： 色強調のオン・オフを切り替え、画面色の補正に関する設定を行います。 画面色の補正 によって、画面表示をより見やすくし、目の疲れを低減します。豊富なプリセット色補正スキームの中からお選びいただくか、カスタム設定を作成することも可能です。

ポインタ： ポインタの強調のオン・オフを切り替え、ポインタ強調スキームを選択します。ポインタ強調では、マウスポインタを見やすくします。豊富なプリセットスキームの中から、ご自身のカスタムスキームをお選びください。ポインタの強調により、マウス ポインタを

見つけやすく、または目で追いやすくすることができます。あらかじめ登録されている代表例から選択したり、カスタム設定で独自の設定をしたりすることができます。

カーソル： カーソル強調のオン・オフを切り替え、カーソル強調スキームを選択します。カーソルの強調により、マウス・ポインタを見つけやすく、または目で追いやすくすることができます。あらかじめ登録されている強調スキームから選択したり、カスタム設定で独自の設定をしたりすることができます。

フォーカス： フォーカスの強調設定のオン・オフを切り替えます。フォーカス強調を利用すると、Tab や方向キーでメニュー、ダイアログ、その他のコントロールを操作する際に、簡単にフォーカスを見つけ、

目で追えるようになります。あらかじめ登録されているプリセットフォーカス強調スキームから選択したり、カスタム設定で独自の設定をしたりすることができます。

操作： 動いているオブジェクトを画面内に収めるための、画面スクロールを調整する操作設定ダイアログを開きます。オブジェクトには、マウスポインタ、テキストカーソル、キーボードフォーカスなど動くオブジェクトが含まれます。

3.3.2 拡大/縮小

ZoomText では、広範囲の倍率設定が可能で、必要に応じて表示の倍率を変更することができます。

設定可能な倍率：

- 1 倍から 2 倍までは 0.2 倍ずつ
- 2 倍から 3 倍までは 0.25 倍ずつ
- 3 倍から 5 倍までは 0.5 倍ずつ
- 5 倍から 8 倍までは 1 倍ずつ
- 8 倍から 16 倍までは 2 倍ずつ
- 20 倍から 36 倍までは 4 倍ずつ
- 42 倍から 60 倍までは 6 倍ずつ

拡大・縮小は、ホットキー、マウスホイール、拡大ツールバーの倍率ボックスからいつでも変更可能です。

注意：複数モニター使用時に、拡大画面を MultiView ローカル、または、MultiView グローバルに設定している場合、それぞれ倍率が設定できます。倍率のコマンド・操作は、常にアクティブなウィンドウにのみ反映されます。アクティブ・非アクティブな画面全ての倍率を同じ倍率を保持する(&M)を複数モニターオプションダイアログから選択すると、強制的に全ての画面の倍率を同じにします。

ホットキーを使用して拡大・縮小を行うには

- 拡大・縮小のホットキーを押す
 - 拡大 無変換 + 上矢印
 - 縮小 無変換 + 下矢印

マウスホイールを使用して拡大・縮小を行うには

- **無変換 + Shift** を押しながらマウスホイールを回します。

倍率ボックスから拡大・縮小を行うには

- **拡大機能** ツールバーの倍率ボックスの上下ボタンを押すか、ボックスにフォーカスが当たっている状態で、上下矢印キーを押します。

3.3.3 マウスホイール拡大をカスタマイズ

多くのアプリケーションでは、マウスホイールを使用してドキュメントをスクロールしたり、他のアクションを行ったりします。ZoomText はマウスホイールとモディファイアキーを組み合わせることで、他のアプリケーションに干渉しないようにしています。デフォルトでは、**無変換 + Shift** がモディファイアキーに設定されています。モディフ

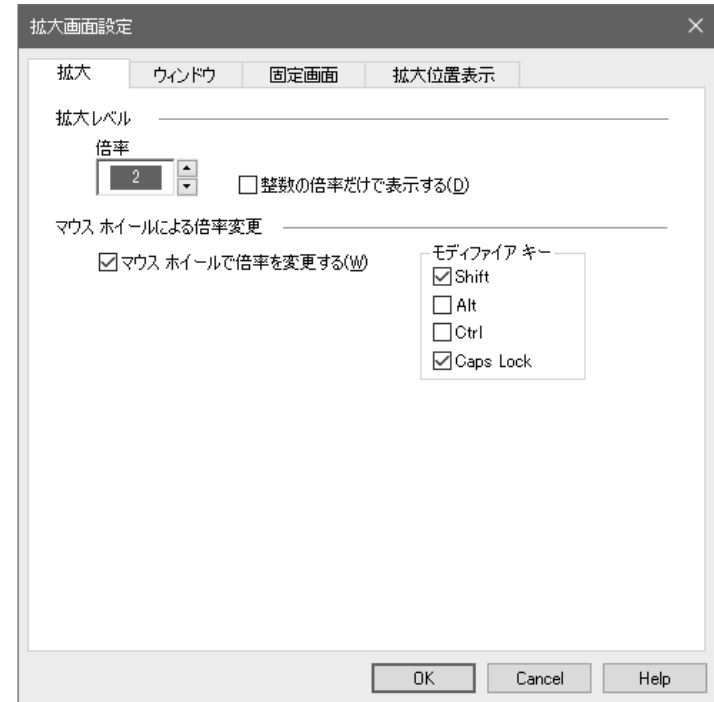
アイアキーの組み合わせは変更可能で、マウスホイールでの拡大自体を無効にすることも可能です。

マウスホイール拡大を設定するには

1. 拡大ツールバーの、拡大画面グループ右下に表示される、拡大画面ボタンを押します。

※拡大画面ダイアログが開きます。

2. 拡大タブを選択します。
3. マウス・ホイールで倍率を変更するにチェックを入れます。
4. マウスホイールで倍率を変更する際に押すモディファイアキーを選択します。
5. OK をクリックします。



3.3.4 1 倍表示切り替えの使用

1 倍表示切り替えを使用すると、拡大した画面と 1 倍の表示を瞬時に切り替えます。1 倍表示に切り替えても、ZoomText の他の拡大・読み上げ機能は使用可能です。

1 倍表示切り替えを使用するには
次のいずれかの操作を行ってください：

- 1 倍表示ホットキー：無変換 + **Enter**
 - 拡大機能ツバーから、倍率ボックスの下にある 1 倍表示ボタンを押すか、倍率ボックスを選択し **Enter** キーを押します。
- ホットキーを 1 回押すごとに現在の倍率と 1 倍が切り替わります。



【1 倍表示ボタン】

注意: 1 倍表示に切り替えても、拡大・縮小の操作は可能です。

3.3.5 拡大画面のスクロール

ZoomText の拡大画面は、マウス、テキストカーソル、アプリケーションフォーカスの動きに合わせて自動的にスクロールします。スクロールコマンドを使用し、画面内の全方向にスクロールすることも可能です。スクロールコマンドのスムーズスクロール機能は、スクロールしながら同時に読みたい場合に便利です。スクロールコマンドでは、瞬時に画面の端、中心に飛ぶことができ、画面のどの位置であっても画面の保存と復元が可能です。

拡大画面をスクロールするには
無変換 + Shift キーを押しながら：

1. 動かしたい方向の矢印キーを押します：右、左、上、または、下
2. スクロール速度を上げるには、同じ矢印キーを押します。一回押すごとに、スクロール速度が上がります。
3. スクロール速度を下げるには、反対の矢印キーを押します。スクロールが止まるまで、一回押すごとに、スクロール速度が下がります。
4. 別方向にスクロールしたい場合は、スクロールしたい方向の矢印キーを押します。
5. スクロールを止めるには、**Enter** キーを押すか、**無変換 + Shift** キーを同時に押してから離します。

画面の端、または中心に飛ぶには
無変換 + **Ctrl** キーを押しながら：

- 動かしたい方向の矢印キーを押します：右、左、上、または、下
- **Home** キーを押すと画面の中央へ飛びます。

特定の画面を保存し、復元するには
以下のホットキーを使用することで、現在の画面を保存し、後で復元
することができます。

- 画面を保存するには：無変換 + **Ctrl** + **Page Down**
- 画面を復元するには：無変換 + **Ctrl** + **Page Up**

3.4 画面の強調表示

3.4.1 画面色の補正

画面色の補正を使用すると、画面表示がより見やすくなり、目の疲れが少なくなります。画面色の補正には、色、コントラストおよび明るさを調整する様々な設定があります。あらかじめ登録されている代表例の中から選択したり、カスタム設定で独自の設定をしたりすることができます。

ヒント Internet Explorer 11（および、随時対応するその他のブラウザ）で明るさ反転と色反転効果を使用すると、ZoomText のスマート反転機能を有効にした際の、写真の反転効果が元の色に戻って表示されません。この機能の詳細については、「3.4.6 スマート反転の使用を参照してください。」

画面色の補正は拡大機能タブの色ボタンで有効になり、設定できます。

このボタンの上部を押すと画面色の補正のオン・オフを切り替え、ボタンの下部を押すと色のメニューが開きます。

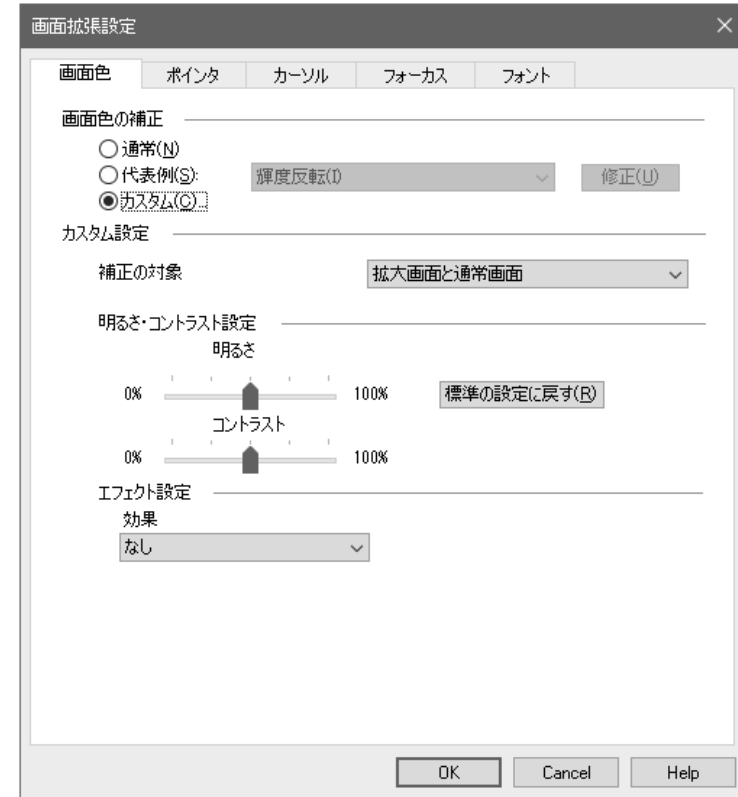
画面色の補正のオン・オフを切り替えるには
次のいずれかの操作を行ってください：

- 拡大機能タブの色ボタンを選択します。
- 画面色の補正ホットキー：無変換 + C

プリセットカラースキームを選択するには

1. 拡大機能タブの色ボタンの逆三角を押すか、色ボタンを選択し下矢印キーを押します。
2. 色メニューからスキームを選択します。
3. スキームメニューから色のスキームを選択します。

- カラースキームを作成するには
1. 拡大機能タブの色ボタンの逆三角を押すか、色ボタンを選択し下矢印キーを押します。
 2. 色メニューから設定を選択します。
- 画面色タブが開いた状態で、画面の強調表示設定ダイアログが表示されます。
3. カスタムを選択します。
 4. カスタム設定を調節します。
 5. **OK** をクリックします。



3.4.2 ポインタの強調

ポインタの強調により、マウス ポインタを見つけやすく、または目で追いやすくすることができます。マウス ポインタの大きさと色を調節することや、画面上のポインタ位置を強調して表示 (ポインタ位置表示) することができます。あらかじめ登録された代表例から選択するか、カスタム設定で独自の設定をすることができます。

ポインタの強調は**拡大機能**タブのポインタボタンで有効になり、設定できます。このボタンの上部を押すとポインタの補正のオン・オフを切り替え、下部を押すとポインタのメニューが開きます。

ポインタの強調のオン・オフを切り替える

次のいずれかの操作を行ってください：

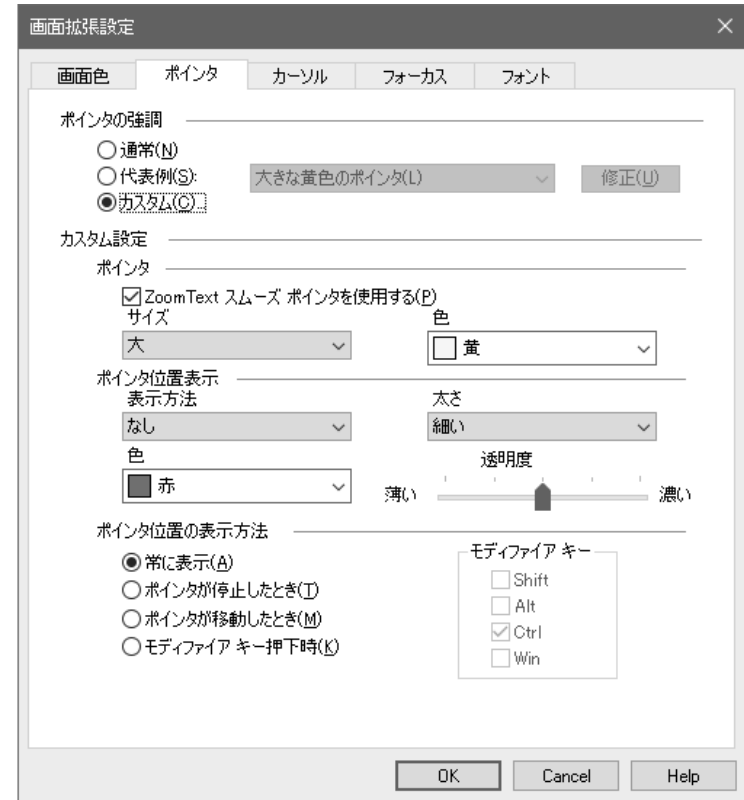
- 拡大機能タブから、ポインタボタンを選択します。
- ポインタ強調のホットキー：無変換 + P

ポインタスキームを選択するには

1. 拡大機能タブから、ポインタの逆三角を押すか、ポインタを選択し下矢印キーを押します。
2. ポインタメニューからスキームを選択します。
3. スキームメニューから、ポインタスキームを選択します。

カスタムポインタスキームを作成するには

1. 拡大機能タブから、ポインタの逆三角を押すか、ポインタを選択し下矢印キーを押します。
2. ポインタメニューから設定を選択します。
ポインタタブが開いた状態で、画面色の補正ダイアログが開きます。
3. カスタムを選択します
4. カスタム設定を設定します。
5. **OK** をクリックします。



3.4.3 カーソルの強調

カーソルの強調により、テキストカーソルを見つけやすく、または目で追いやすくします。テキストカーソルの位置をその周囲の文字を隠すことなく分かりやすく表示します。あらかじめ登録されているスキームの中から選択したり、カスタム設定で独自の設定をしたりすることができます。

カーソルの強調は拡大機能タブのカーソルボタンで有効になり、設定できます。このボタンの上部を押すとカーソルの強調のオン・オフを切り替え、下部を押すとカーソルのメニューが開きます。

カーソルの強調のオン・オフを切り替えるには
次のいずれかを行ってください：

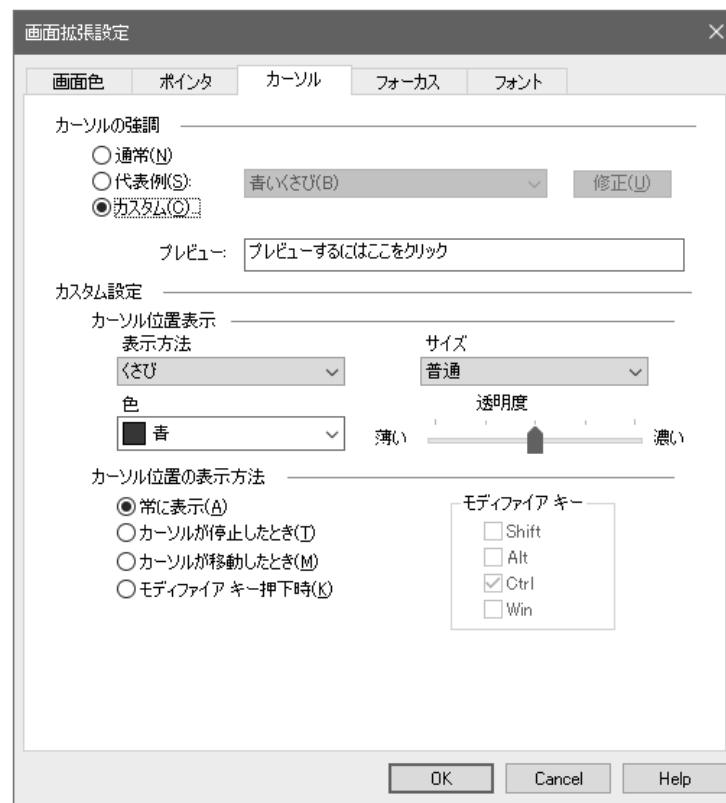
- 拡大機能タブから、カーソルボタンを選択します。
- カーソルの強調のオン・オフホットキー：無変換 + R

カーソルのプリセットスキームを選択するには

1. 拡大機能タブから、カーソルの逆三角を押すか、カーソルを選択し
下矢印キーを押します。
2. カーソルメニューからスキームを選択します。
3. スキームメニューから、カーソルスキームを選択します。

カスタムカーソルスキームを選択するには

1. 拡大機能タブから、カーソルの逆三角を押すか、カーソルを選択し下矢印キーを押します。
2. カーソルメニューから、設定を選択します。
カーソルタブが表示された状態で、強調ダイアログが開きます。
3. カスタムを選択します。
4. カスタム設定を設定します。
5. **OK** をクリックします。



3.4.4 フォーカスの強調

フォーカスの強調機能では、アプリケーションメニュー、ダイアログ、その他のアプリケーションコントロールをタブキーや方向キーで操作する際に、簡単にコントロールフォーカスの位置を確認し、目で追えるようにします。この機能を有効にすると、フォーカスのあるコントロールの場所を周囲のテキストを隠すことなく強調して表示します。あらかじめ登録されているフォーカスの代表例の中から選択したり、カスタム設定で独自の設定をしたりすることができます。

フォーカスの強調は**拡大機能**タブのフォーカスボタンで有効になり、設定できます。このボタンの上部を押すとフォーカスの強調のオン・オフを切り替え、下部を押すとフォーカスのメニューが開きます。

フォーカスの強調のオン・オフを切り替えるには
次のいずれかの操作を行ってください：

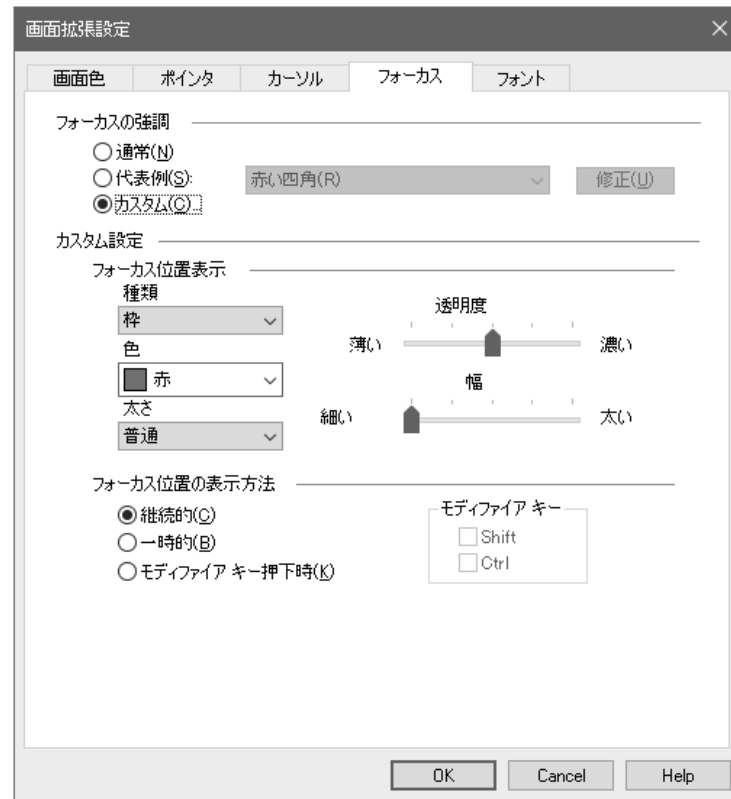
- 拡大機能タブからフォーカスボタンを選択します。
- フォーカス強調オン・オフのホットキー：無変換 + F

フォーカススキームをスキームから選択する

1. 拡大機能タブから、フォーカスの逆三角を押すか、フォーカスまで
行き下矢印キーを押します。
2. フォーカスメニューから、スキームを選択します。
3. スキームメニューから、フォーカススキームを選択します。

カスタムフォーカススキームを作成するには

1. 拡大機能タブから、フォーカス横の逆三角を押すか、フォーカスマで行き下矢印キーを押します。
2. フォーカスメニューから、設定を選択します。
フォーカスタブが開いた状態で、画面の強調表示設定ダイアログが開きます。
3. カスタムを選択します。
4. カスタム設定を設定します。
5. **OK** をクリックします。



3.4.5 フォントの強調

従来の画面拡大では、フォント（文字）の明瞭さは拡大すると低下します。フォントの強調を有効にすると、すべての種類のフォントはどの倍率でも元のままの見やすさで拡大表示されます。ZoomText には x Font と Geometric Smoothing という 2 種類のフォントの強調方法があります。ZoomText インストール時から、両方のフォントの強調が有効です。もしフォントの強調によって見にくさを感じる場合は、フォントの強調モードを切り替え、片方、あるいは双方を無効にし、見にくさが改善されるかお試しくください。フォントの強調ダイアログから、フォントの強調を確認し設定できます。

フォントの強調モードを切り替えるには

- ・ フォントの強調モードホットキー：無変換 + X

フォントの強調設定を変更するには

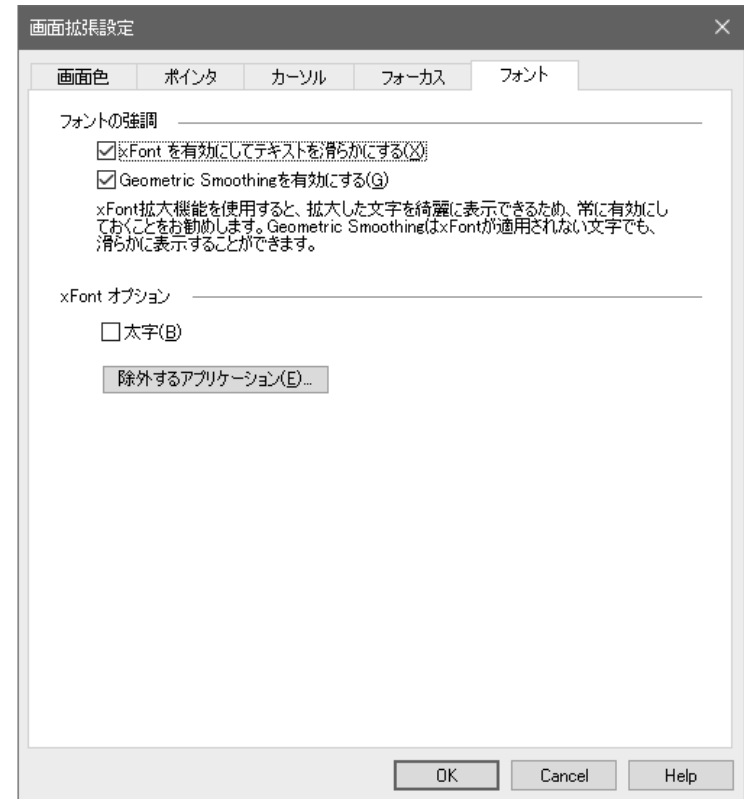
1. 拡大機能タブから、画面の強調表示グループの右下隅に表示される、画面の強調表示ボタンを押します。

画面の強調表示ダイアログが表示されます。

2. フォントタブを選択します。

3. フォントの強調設定を変更します。

4. **OK** をクリックします。



3.4.6 スマート反転の使用

ロービジョンのコンピュータユーザーの間では、フィルターを使用し、画面の明るさ・色を調整し、目に負担をかけず画面上の文字を読みやすくする方法が使われています。しかし、その結果、写真の画像を見づらくさせてしまうことがあります。

ZoomText のスマート反転機能を有効にすると、画面色の補正の輝度反転・色反転を使用している場合、ZoomText は写真への補正をやり直し、自然な色で表示させます。

注意: 現在この機能は Internet Explorer 11 と Google Chrome でのみ使用可能ですが、随時他のウェブブラウザ、アプリケーションにも対応予定です。

色メニューからスマート反転を有効・無効にするには

1. 拡大機能タブの色ボタンの逆三角を押すか、色ボタンを選択し下矢印キーを押します。
2. 色メニューから「スマート反転を使用」を選択します。

スマート反転のオン・オフをホットキーで設定するには

- ・ スマート反転のオン・オフ ホットキー：無変換 +I

注意:スマート反転は輝度反転、色反転、もしくは両方が有効になっている場合のみオン・オフが設定できます。

3.5 操作設定

3.5.1 追従

マウスの移動やテキスト入力、またメニュー、ダイアログおよびその他のコントロールを操作したときに、自動的にスクロールして拡大画面内に操作対象を表示するようにします。この動作の内容は ZoomText の追従の設定で変更でき、(アクティブになったときに) 追従する項目を選択することができます。画面の選択範囲だけを追従するよう、設定することもできます。

追従の設定を変更するには

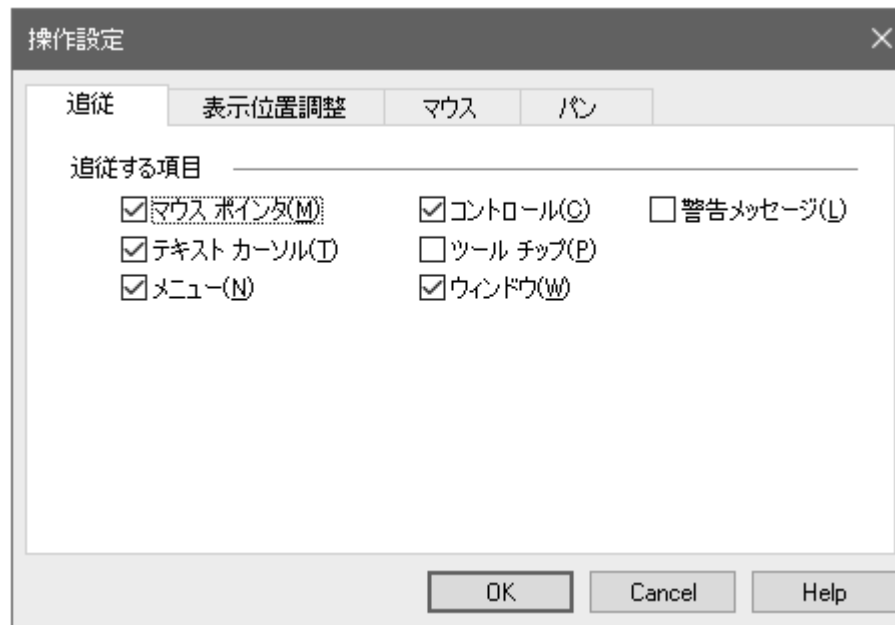
1. 拡大機能タブの操作ボタン
を選択します。

2. 操作メニューから追従を選
択します。

追従タブが開かれた状態で、
操作設定ダイアログが表示さ
れます。

3. 追従設定を設定します。

4. **OK** をクリックします。

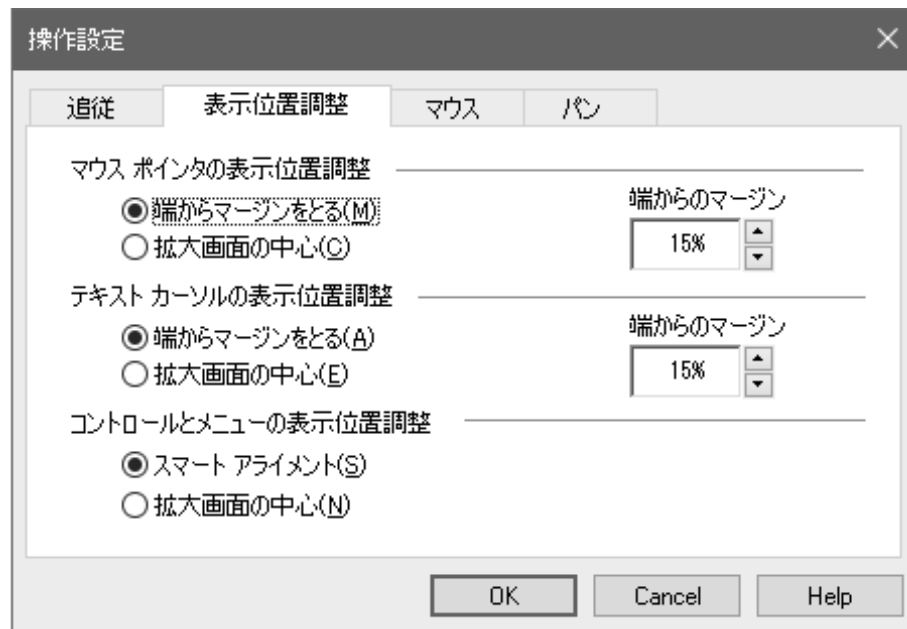


3.5.2 表示位置調整

表示位置調整では、拡大画面内に対象の項目を表示しながら、拡大画面をどのようにスクロールするかを設定します。一般的に表示位置調整には、端に表示する方法と中心に表示する方法の2種類があります。端に表示する方法では、追従する対象を拡大画面に表示するために必要な分だけスクロールします。中心に表示する方法では、追従する対象が拡大画面の中心に来るようにスクロールします。さらに第3の方法として、[スマート アライメント] を使用すると、対象の項目と、その項目を含むウィンドウまたはメニューの最大部分が拡大画面に入るようにスクロールします。

表示位置調整設定を変更するには

1. 拡大機能タブの操作ボタンを選択します。
2. 操作メニューから表示位置調整を選択します。
表示位置調整タブが表示された状態で操作設定ダイアログが表示されます。
3. 表示位置調整設定を変更します。
4. OK をクリックします。



3.5.3 マウス

マウス操作の[ポインタ配置]および[ポインタの移動制限]の設定をすると、マウスポインタを探しやすく、操作しやすくなります。[ポインタ配置]を使用すると、必要なときにはいつでもマウスポインタを拡大画面内に表示できます。[ポインタの移動制限]を使用すると、マウスポインタの動く方向を水平および垂直方向のみに、または動ける範囲をアクティブウィンドウ内のみに制限することができます。

マウスの操作オプションを変更するには

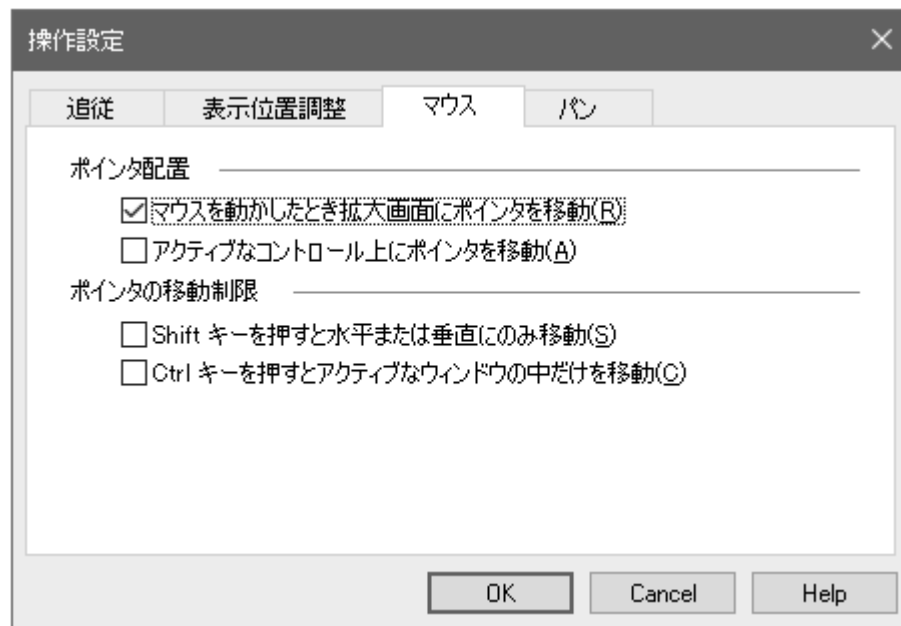
1. 拡大機能タブの操作ボタンを選択します。

2. 操作メニューからマウスを選択します。

マウスタブが開いた状態で、操作設定ダイアログが表示されます。

3. OK をクリックします。

4. マウス操作設定を変更します。

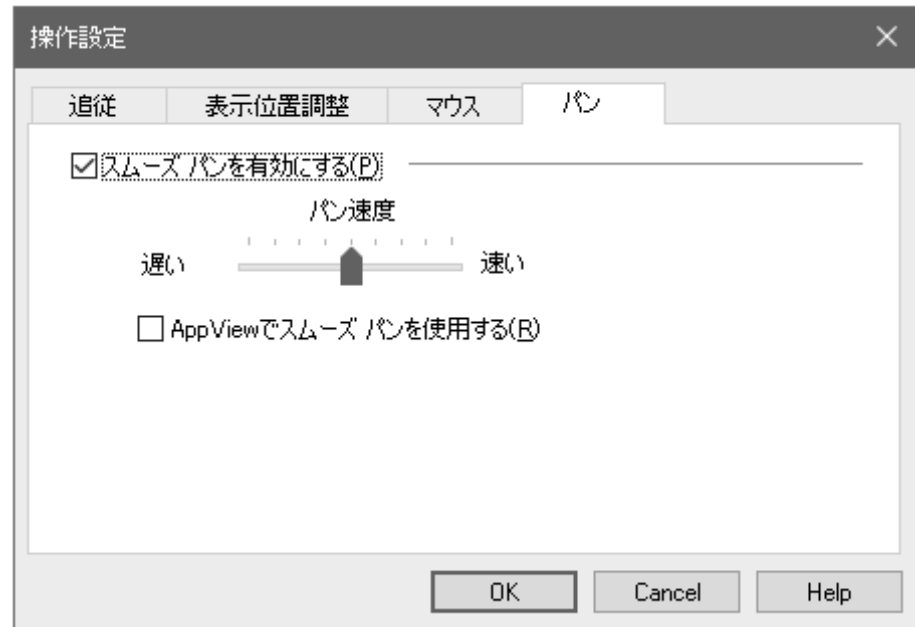


3.5.4 パン

スムーズパンを使用すると、拡大画面内をスクロール表示する際に対象を見失わないように、より自然にパン（一定方向に同じ速度で拡大画面を移動）することができますテキストを入力したり、メニューやダイアログ、その他のコントロールを操作したりしたときに、拡大画面が唐突に切り替わることなく、スムーズにパンします。

スムーズパンの設定を行うには

1. 拡大機能タブの操作ボタンを選択します。
2. 操作メニューから、パンを選択します。
パンタブが表示された状態
操作設定ダイアログが開きます。
3. スムーズパン設定を行います。
4. OK をクリックします。



4. ZoomText コマンド

4.1 ファインダのコマンド

ファインダ起動には以下のホットキーを使用します。

コマンド	ホットキー
ファインダ起動	無変換 + Ctrl + F

以下のレイヤーキーを使用して、ファインダを起動できます。

コマンド	レイヤードキー
ファインダ起動	無変換 + Spacebar, F

ファインダ操作には以下のモーダルキーを使用します。

コマンド	入力キー
ページ要素の種類を上方向に循環	Ctrl + 上矢印キー
ページ要素の種類を下方向に循環	Ctrl + 下矢印キー
項目の実行	Ctrl + Enter
1 つ目の項目 (絞り込み済み一覧)	Ctrl + Home
最後の項目 (絞り込み済み一覧)	Ctrl + End
次のコントロール	Ctrl + C
次のフォーム	Ctrl + F
次の見出し	Ctrl + H
次の見出しレベル 1 ... 6	Ctrl + 1 ... 6

次の画像	Ctrl + I
次のリンク	Ctrl + L
次のリスト	Ctrl + S
次の表	Ctrl + T
次の項目	Enter または Ctrl + 右矢印
前のコントロール	Ctrl + Shift + C
前のフォーム	Ctrl + Shift + F
前の見出し	Ctrl + Shift + H
前の見出しレベル 1 ... 6	Ctrl + Shift + 1 ... 6
前の画像	Ctrl + Shift + I
前のリンク	Ctrl + Shift + L

前のリスト	Ctrl + Shift + S
前の表	Ctrl + Shift + T
前の項目	Shift + Enter または Ctrl + 左矢印
リスト検索の切り替え	Alt + L
ファインダ終了	終了

4.2 レイヤードキーコマンドモード

レイヤードキーコマンドモード起動には以下のホットキーが使用可能です。

コマンド	ホットキー
コマンドモード選択	無変換 + スペースキー

コマンドモード中は以下のレイヤードキーを使用すると各コマンドモード移ることができます。

コマンド	レイヤードキー
ファインダ起動	F
拡大コマンド	M
プログラムコマンド	P

スクロールコマンド	S
サポートコマンド	U
ウィンドウコマンド	W
範囲コマンド	Z

4.3 拡大コマンド

拡大コマンドは以下のホットキーを使用します。

コマンド	ホットキー
拡大コマンド	未設定
色強調切替	無変換 + C
カーソル強調切替	無変換 + R
フォーカス強調切替	無変換 + F
フォント強調切替	無変換 + X
ポインタ強調切替	無変換 + P
反転表示強調切替	無変換 + I
等倍/拡大切替	無変換 + Enter

カメラで拡大	無変換 + Enter
カメラで縮小	無変換 + 下矢印

拡大コマンド操作には以下のレイヤードキーを使用することができます。

コマンド	レイヤードキー
拡大コマンド	無変換 + スペースキー, M
色強調切替	C
カーソル強調切替	R
フォーカス強調切替	F
フォント強調切替	X
ポインタ強調切替	P

反転表示強調切替	
等倍/拡大切替	Enter
カメラで拡大	上矢印キー
カメラで縮小	下矢印キー

4.4 プログラムコマンド

以下のホットキーでプログラムコマンドを操作します。

コマンド	ホットキー
プログラムコマンド	未設定
ZoomText(オン/オフ)	無変換 + Ctrl + Enter
ユーザーインターフェースを表示	無変換 + Ctrl + U
設定ファイル 1 ... 10 をロード	無変換 + Ctrl + 1 ... 0 注意:0 は設定ファイル 10 のロードに使用されます。
アプリケーション設定の管理	無変換 + Ctrl + M
アプリケーション設定の保存	無変換 + Ctrl + S

プログラムコマンドの操作

コマンド	レイヤードキー
プログラムコマンド	無変換 + スペースキー, P
ZoomText (オン/オフ)	Enter
ユーザーインターフェースを表示	U
設定ファイル 1 ... 10 をロード	1 ... 10 注意:0 は設定ファイル 10 のロードに使用されます。
アプリケーション設定の管理	M
アプリケーション設定の保存	S

4.5 スクロールコマンド

スクロールコマンドは以下のホットキーで操作します。

コマンド	ホットキー
スクロールコマンド	未設定
上にスクロール	無変換 + Shift + Up
下にスクロール	無変換 + Shift + Down
左へスクロール	無変換 + Shift + 左矢印
右へスクロール	無変換 + Shift + 右矢印
スクロール停止	無変換 + Shift + Enter
上にジャンプ	無変換 + Ctrl + 上矢印
下にジャンプ	無変換 + Ctrl + 下矢印

左にジャンプ	無変換 + Ctrl + 左矢印
右にジャンプ	無変換 + Ctrl + 右矢印
中央にジャンプ	無変換 + Ctrl + Home
ビューの保存	無変換 + Ctrl + Page Up
保存済ビューの呼び出し	無変換 + Ctrl + Page Down

スクロールコマンドは以下のレイヤードキーでも操作します。

コマンド	レイヤードキー
スクロールコマンド	無変換 +スペースキー, S
上にスクロール	上矢印キー
下にスクロール	下矢印キー

左へスクロール	左矢印
右へスクロール	右矢印キー
スクロール停止	Enter
上にジャンプ	Ctrl + 上矢印キー
下にジャンプ	Ctrl + 下矢印キー
左にジャンプ	Ctrl + 左矢印キー
右にジャンプ	Ctrl+ 右矢印キー
中央にジャンプ	Ctrl + Home
ビューの保存	Ctrl + Page Up
保存済ビューの呼び出し	Ctrl + Page Down

4.6 サポートコマンド

拡大コマンドは以下のホットキーを使用します。

コマンド	ホットキー
サポートコマンド	未設定
AHOI のオン/オフ	Ctrl + Alt + Shift + A
AHOI 状況レポート	Ctrl + Alt + Shift + R
ZoomText 画面のキャプチャ	Ctrl + Alt + Shift + C
カーソル検出	Ctrl + Alt + Shift + D
次のホットキーをパス	Ctrl + Alt + Shift + P
追従機能のオン/オフ	Ctrl + Alt + Shift + T
スクリーン モデルのアップデート	Ctrl + Alt + Shift + U

ZoomText 情報

Ctrl + Alt + Shift + I

拡大コマンド操作には以下のレイヤードキーを使用することができます。

コマンド	レイヤードキー
サポートコマンド	無変換 + スペースキー, U
AHOI のオン/オフ	A
AHOI 状況レポート	R
ZoomText 画面のキャプチャ	C
カーソル検出	D
次のホットキーをパス	P
追従機能のオン/オフ	T

スクリーン モデルのアップデート	V
ZoomText 情報	I

4.7 ウィンドウコマンド

以下のホットキーはウィンドウ操作に使用します。

コマンド	ホットキー
ウィンドウコマンド	未設定
ウィンドウタイプを拡大	無変換 + Z
ウィンドウ調整ツールを拡大	無変換 + A
固定画面のオン/オフ	無変換 + E
新しい画面を固定	無変換 + N
マウス軌跡	未設定
マウス軌跡	未設定
アクティブビューの切り替え	無変換 + V

ビューロケータのオン/オフ	無変換 + L
オーバービューモードのオン/オフ	無変換 + O

以下のレイヤードキーでウィンドウコマンド操作を行うことができます。

コマンド	レイヤードキー
ウィンドウコマンド	無変換 + スペースキー, W
ウィンドウタイプを拡大	Z
ウィンドウ調整ツールを拡大	A
固定画面のオン/オフ	E
新しい画面を固定	N
マウス軌跡	下矢印キー

マウス軌跡	上矢印キー
アクティブビューの切り替え	V
ビューロケータのオン/オフ	L
オーバービューモードのオン/オフ	O

5 オンラインヘルプ

さらに詳しい使用方法は、ZoomTextオンラインヘルプをご覧ください。

メニューバーのヘルプ(H)内のZoomTextヘルプ(Z)にてオンラインヘルプが起動します。

※Zoom Textは米国およびその他の国におけるFreedom Scientific(VFOグループ)の登録商標です。Microsoft および Windows は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

6 お問い合わせ

ZoomText サポートデスク

電話、FAX 及び電子メールでご質問を受け付けます。

ZoomText サポートデスク連絡先

電話 03-6380-2507

FAX 03-5287-5602

電子メール zoomtext@lowvision-support.com